

「丸沼スイムラン 2021」における国立公園の通行について

2021年3月18日案
丸沼スイムラン大会実行委員会

<大会概要>

日程

- 2021年8月21日(土)

種目：スイムおよびランニング

- スプリント/ソロ (10km程度：スイムトータル約2.5km)
- スタンダード (30km程度：スイムトータル約8km)

スケジュール

8月21日(土)

- 6:30 - 7:00 環湖荘前駐車場にてレース受付
- 7:00 - 7:30 ブリーフィング
- 8:00 スタンダード・スタート
- 9:00 スプリント/ソロ・スタート
- 17:00 レース終了、表彰式

参加資格

- 中学生以上、過去2年以内(2019-2021年)にオープンウォータースイム1.5km以上(スタンダード)、750m以上(スプリント)を完泳した記録を持つ者(トライアスロン・アクアスロン・エクステラ内での完泳記録でも可)。もしくはその距離のオープンウォーターを完泳するスキルがあるとスイムコーチから証明書を発行された者。

参加人数数(予定)

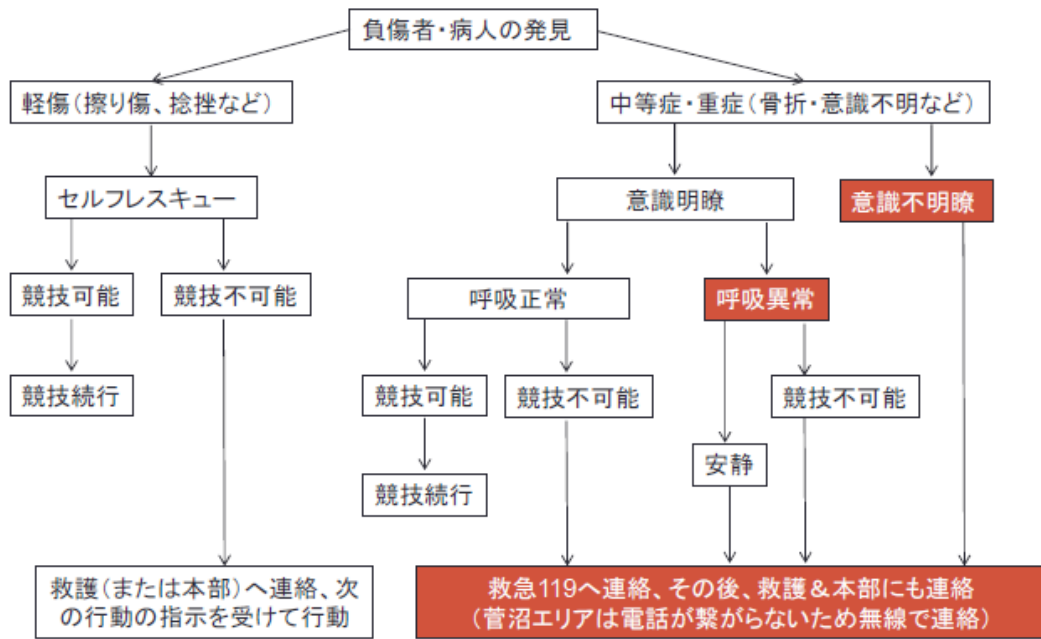
- スタンダード 30ペア(60名)
- スプリント 35ペア(70名)
- ソロ 20名
- スタッフ 40名

安全対策

1. 大会スタッフは、共通の大会Tシャツを着用し、選手に対して交通規則などの法令に遵守し、レースを行なうように伝える。
2. 開催会場設置のAEDおよび救急救命士の携帯によるAEDを状況に応じて使用できる対策をとる。
3. 大会期間中、大会スタッフは、参加者に対しての安全面の確保をするとともに、通行者及び通行車両に対して、安全の意識を高める。

- 各ポイントに置いて、スタッフは、通過チームを常に本部に報告し、最終チームには、コースを熟知しているスタッフが一緒に同行する。
- 緊急を要する場合は、参加者は、主催者に連絡する旨を徹底し、主催者は、軽い打撲など軽傷の場合、病院に車にて搬送する。必要に応じ、消防署に連絡する。なお、各ポイントのスタッフは、参加者に異常がある場合も、常に本部に報告することを徹底する。
- 雨天になり、危険な場合は、コースを変更もしくは、短縮する。

大会安全管理対策 レース当日の救護フロー



コース概要

- 国立公園内において、レースに利用させていただくルートは、登山道と林道とし、選手にはコースから外れないように告知する。
- 主要ポイントには、山岳スタッフを配置する。
- 無人のポイントには、チェックポイントバナーを設置する。
- バナーは、レース終了後、山岳スタッフが速やかに撤去作業を行なう。
- 保安林及び自然公園内では、立木を切る、土地の形質の変更にあたる行為、土石や樹根の採掘等を行わない。
- 選手にもゴミを残さないよう、ルールに定め、注意喚起する。
- 大会実施にあたっては、「国立公園内におけるトレイルランニング大会等の取り扱いについて」及び「国立公園内で開催されるトレイルランニング大会等におけるモニタリングの手引き」を参考として、適切に実施する。

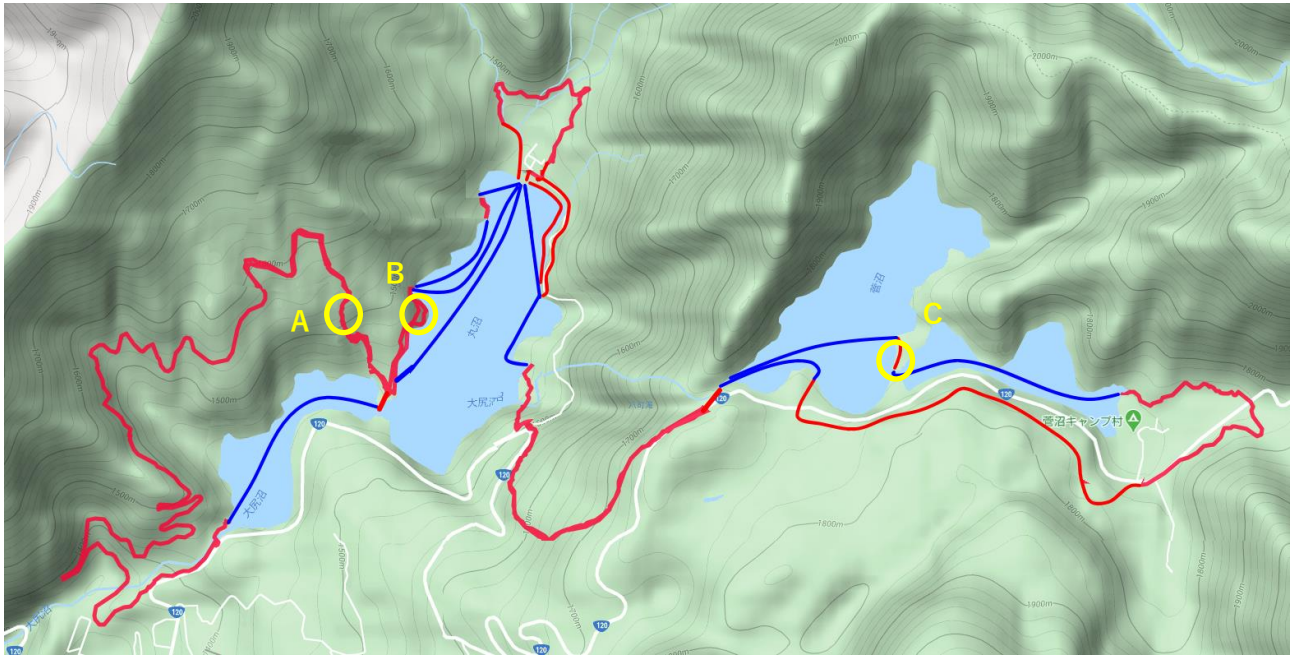
モニタリング調査

① 選定箇所と方法

A 地点：丸沼遊歩道から林道に向かう尾根（大会前と後に写真撮影）

B 地点：丸沼遊歩道、選手が2度通る箇所（大会前と後に写真撮影）

C 地点：菅沼の砂浜から八角堂へ向かう尾根道（大会前と後に写真撮影）



②調査予定

（使用前）

全地点共に、2021年8月中旬予定

（使用后）

全地点共に、2021年8月22日午前10～12時予定

モニタリング計画書およびモニタリング報告書掲載

日本スイムラン協会公式ウェブページ

<https://swimrun.jp/event/>

以上